

2023 年度 部局 FD 活動報告

医学部リハビリテーション学科・リハビリテーション学研究科

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）		
部局 FD の検討・実施体制は、部局教務委員会内に設置している。委員の構成は、羽曳野学生グループ教務担当事務 4 名、理学療法学専攻教員 2 名、作業療法学専攻教員 2 名の合計 8 名である。委員会は、月 1 回の頻度で開催し、学内セミナーの周知、カリキュラム、シラバス記載方法の周知、GPC 分布確認などを中心に論議している。委員会での審議および報告事項は、部局教授会を通し、各専攻にて周知している。		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2023 年 5 月 20 日 13 時	第 1 回臨床実習指導者会議（臨床施設参加 34 名、教員 12 名）	46 名
2023 年 5 月 20 日 15 時	第 2 回臨床実習指導者会議（臨床施設参加 20 名、教員 12 名）	32 名
2023 年 7 月 3 日	第 3 回臨床実習指導者会議（臨床施設参加 16 名、教員 12 名）	28 名
2023 年 10 月 28,29 日	臨床実習指導者講習会（受講者 37 名、運営 18 名）	55 名
2023 年 3 月 8 日	第 4 回臨床実習指導者会議（臨床施設参加 22 名、教員 12 名）	34 名
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
部局教務委員会	月 1 回（水曜日）カリキュラム、評定、シラバスなど	8 名
理学療法学専攻会議	週 1 回（月曜日）カリキュラム、評定、シラバス、実習、 国家試験など	12 名
作業療法学専攻会議	週 1 回（月曜日）カリキュラム、評定、シラバス、実習、 国家試験など	12 名
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に）		
1) 臨床実習指導者講習会大阪府養成校協議会 2023 年度第 1 回総会への参加（2023 年 7 月 20 日; 3 名）		
2) 全国リハ学校協会 臨床実習指導者講習会に関する説明会への参加（2023 年 9 月 20 日; 1 名）		
3) 第 3 者評価		
理学療法学専攻および作業療法学専攻では、一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構（ http://jcore.or.jp/ ）によるリハビリテーション教育施設の教育の質を保証するための第 3 者評価を受け、一定の水準を満たしていると認められている（2023 年度更新）。さらに、作業療法学専攻では、世界作業療法士連盟（World Federation of Occupational Therapists : WFOT）認定校の認可を受けており、2023 年度に認可更新された。		
5. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄（必ずご記入ください）		
部局教務委員会にて、全科目の分布を確認し、教授会にて報告後、理学療法学専攻および作業療法学専攻会議で周知した。2022 年度は、GPC「4」が数科目存在したが、2023 年度は修正された。特に、「AA」の基準は履修学生全体の 30%になるよう、試験・レポート課題等のレベルを徹底するよう周知した。		

【検討課題】

レポート課題においては、ルーブリック評価が浸透しておらず、次年度の課題として検討する。
GPC が極端に低い科目（非常勤）があったため、非常勤にも周知が必要である。

6. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

- ・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 (24)人
- ・所属内の専任教員の人数 (24)人

7. その他、追記事項

1) 2022年度の内部質保証スタートアップ事業（学外実習デジタルトランスフォーメーションの構築）
理学療法学専攻と作業療法学専攻の代表教員3名にて、会議を5回開催した。

2) 履修証明プログラム

大学院において履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」を開講している。事務局2名、
リハビリテーション学研究科教員4名の合計6名体制で実施している。受講生は、学部の卒業生をはじめ、
他大学の教員、臨床の理学療法士・作業療法士である。2023年度には11期生を迎え、10期生までの総修
了生人数は、314名である。